



令和4年10月 発行
発行者 市民クラブ

〒206-8601
東京都稲城市東長沼 2111
TEL 042-378-2111

代表:いそむら あきこ



無所属
akko2031@gmail.com

村上 洋子



稲城・生活者ネットワーク
inagi@seikatsusha.net

武田 まさひと



立憲民主党
mas.takeda@gmail.com

あらい 健



無所属

9月議会報告(9/2~9/29)

令和3年度決算の認定に賛成しました。

9月議会では、高校生等の医療費の助成に関する条例や稲城市長等の損害賠償の一部免責に関する条例などの他、令和3年度の決算審議がありました。また採決終了後、本会議場にて、故荒井健議員の追悼式が執り行われました。

長引くコロナ禍に加え、物価高や円安が加速し、家計の負担を圧迫しています。私たちに残された任期も残り6カ月ほどとなりましたが、引き続き、様々な課題に対し全力で取り組んでまいります。



決算審議

①新型コロナウイルス感染症対策としての国や都の交付金・補助金が適切にスムーズに給付あるいは活用されたか

令和3年度は、12回の補正予算が計上され、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策や経済対策などに適宜取り組まれていたことを評価致します。

②膨らんだ財政規模にもかかわらず、経常収支比率等の市の財政の健全性が保たれているか

財政の健全性について、まず歳入ですが、当初予算では、新型コロナウイルス感染症の影響などにより税収が落ち込むことを想定した予算となっていました。しかし、決算額は159億6,265万円と約10億円も上振れする結果となりました。また、臨時財政対策債においても、当初予算では約10億円計上していましたが、決算では0円と活用が不要となりました。次に、将来負担比率は、令和2年度34.6%に対し、令和3年度は19.5%と15.1%低くなる結果となりました。

今後、市内公共施設の老朽化対策や長寿命化、学校施設の整備など、様々なハード面において多額の費用が必要となる本市においては、依然として年々人口が増加傾向にはあります。少子高齢化を見据えたインフラ整備・管理をおこない、将来負担比率が高くならないよう引き続き健全な財政運営を求めました。

③市民の側から見た市民サービスの内容はどうか

市民サービスについて、令和3年度になすべき施策として挙げられた様々な施策に滞りなく取り組まれたことを評価致します。

現在では、「コロナ禍」に「ウクライナ危機」も長引き、物価高や円安が加速し、収入が増えないなか、家計は圧迫され、さらに経済格差が広がりをみせています。今後も先行きが見通せないなかで、求められる支援を的確に捉え、迅速かつ適切な支援を実行していただくことを求め、令和3年度東京都稲城市一般会計歳入歳出決算に賛成しました。

7月3日 第32回稲城市消防団消防操法審査会に出席しました。



8月2日 南山西部地区を視察し、この地区を管理されている市民グループの方と意見交換しました。



郵便はがき

2068601

63円切手を貼ってください

稲城市東長沼 2111

稲城市議会
市民クラブ 行

補正予算

令和5年4月より、高校生等の医療費の助成制度が開始します！

東京都が今年度、本制度を発足し、本市においても令和5年4月より、高校生等までに医療費の助成制度が拡大されます。しかし、義務教育就学児と同様に所得制限が設けられています。都内の自治体では対応が分かれ、23区では、必要な費用を各区で負担し、所得制限や自己負担を設けずに無償化を実現する方針です。市部においては、9月時点で、11市が所得制限を設けない予定です。

各自治体の財政力の違いにより、対応に差が生じているため、どこの自治体に住んでも子どもたちが平等に医療を受ける権利を保障されるよう、東京都の施策において所得制限を撤廃し、財源を確保すべきと考えます。



故荒井健議員の訃報について

荒井 健 稲城市議会議員が、令和4年9月22日に永眠されました。謹んでご冥福をお祈りするとともにお知らせ致します。

荒井議員は1987年に稲城市議会議員に初当選され、9期35年の間稲城市の発展に尽力されました。会派の議員一同、荒井議員が目指した「市民自治」によるまちづくりを継承し、これからも誠心誠意努めてまいります。



永年表彰「市議会だより」より

お名前 _____
ご住所 _____
お電話番号 _____

あなたの「ひとこと」をおよせください。

9月議会の一般質問から



いぬいあけみ

公民館の多様な活用について

公民館での活発な生涯学習活動や地域での必要な政治的教養を高めるためにも、今後、営利目的や政党・政治活動の利用については、文部科学省からの事務連絡の内容を踏まえ、検討していく必要もあると考え、多様な活用を求めました。

Q. 公民館を有料で利用できる条件をホームページ等にも明確に記載し、利用者へわかりやすく明示する必要があり、と考えるが見解は？

A. 市ホームページへの掲載のほか、稲城市立公民館利用の手引きに、分かりやすく記載する。

Q. 平成30年12月21日付、文部科学省からの事務連絡の内容は？

A. 規定の趣旨として、公民館が営利事業に係ることを全面的に禁止するものではないこと、また公民館を政党または政治家に利用させることを一般的に禁止するものではないことを周知する内容。

Q. 営利目的や政党・政治活動の利用について、今後、検討していく必要もあると考えるが見解は？

A. 稲城市公民館条例、稲城市公民館条例施行規則、また先の文部科学省からの事務連絡に基づき、適正な運用をしていることから、営利目的や政党・政治活動の利用に関する取り扱いについて変更を予定はない。

Q. 当日の利用については、「コロナ禍で計画的に開催することが難しい現状もあり、またこれまで当日利用については利用できるようにしたい」という声も多くある。当日利用の検討、研究状況についての見解は？

A. 施設の有効活用という観点および公民館登録団体からの要望もあることから、今後、公民館運営審議会において検討する。



武田まさひと

持続可能な里山保全について

Q. 持続可能な管理ができる担い手の育成について、他市では基金の運用で、管理を民間委託している例がある。稲城市の緑化推進基金や森林環境譲与税を活用するなどして地域の調整役や全体の管理をする担い手の育成をしていく必要があると考えるが見解は？

A. 稲城市緑の基本計画では、水と緑の継承と創造を理念とし、「緑の環」の継承のため4つの基本方針に水と緑のまちづくりのための施策に取り組み。

これらの施策を展開するため、稲城市緑化推進基金や森林環境譲与税等の財源の活用も含め、現在、策定中の緑の基本計画の中で、自然環境保全審議会に意見を伺いながら検討していく。

Q. 相続や買収などで保全が脅かされる場合、公有化を目指すべきだと考えるが見解は？

A. 市では、「緑」を市民共有の財産として、次世代に継承していくため、これまでも、都市基盤整備による恒久的な確保をはじめ、特別緑地保全地区や自然環境保全地域の指定により「緑」の継承など、民有緑地の保全に取り組んできている。

全ての緑地を公有化することは、困難なことから、保全すべき緑の位置づけ、優先順位なども考慮しながら、現在、策定中の「緑の基本計画」の中で、自然環境保全審議会にも意見を伺いながら、検討していきたい。



村上洋子

「子ども基本法」に謳われる「子どもの権利」についての普及啓発について

日本が1994年に国連子どもの権利条約を批准してから28年を経て2022年6月、第208回国会において「子ども基本法」が成立しました。

前文には「日本国憲法及び児童の権利に関する条約の精神に則り」と明記されました。

Q. 「子どもの権利条約の精神」についての市の認識を伺う。

A. 「子どもの権利条約の精神」については、「生命、生存及び発達に対する権利」、「子どもの最善の利益」、「子どもの意見の尊重」、「差別の禁止」の4つの原則からなるものであり、18歳未満の児童は権利をもつ主体として位置づけ、大人と同様に一人の人間としての人権を尊重するものであると認識している。

子ども政策担当大臣は、「子どもが保護者や社会の支えを受けながら自立した個人として自己を確立していく主体言い換えれば権利の主体である」と明言し、「保護すべきところは保護しつつ、子どもの意見を年齢、発達段階に応じて尊重し、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を後押しする」として『子どもまんなか社会』を発信しました。

これを実現するためには、自治体においても「子どもの権利」について積極的に普及啓発していく必要があると考え、市に伺いました。

Q. 「子どもの権利」について、市としても積極的に周知するべきと考えますが、市の認識は？

A. 「子どもの権利」に関する周知については、今後も引き続き国や東京都の動向を踏まえ、対応していく。

～プラスチックごみの分別収集が始まります～



▼指定収集袋の値段が決まりました。

令和5年4月からプラスチック廃棄物の分別収集を開始するために、市民への説明と意見聴取のためのオープンハウスが市内各所で開催されています。今議会で、処理に係る指定収集袋を、不燃ごみや可燃ごみの半額にする条例改正が提案され賛成多数で可決されました。

【家庭用】 (1枚当たり)	特小	5ℓ	5円
	小袋	10ℓ	10円
	中袋	20ℓ	20円
	大袋	40ℓ	40円

指定収集袋の有料化により、他のごみの混入を防ぎ、プラスチックの使用そのものを減らす抑制効果が期待されますが、あくまでも分別回収の動機づけのためであり、通常の総コストから計算する手数料とは分けて考えるべきであることは忘れてはなりません。

この部分を切り取り、63円切手を貼って送ってください。

市政について、あなたの関心のあるのはどんなことですか？(○をつけてください)

- *教育
- *子育て
- *コロナ
- *医療
- *介護
- *障がい
- *生活困窮
- *緑の保全
- *まちのにぎわい
- *公共施設
- *防災
- *税金
- *その他

(具体的に内容をお書きください)

会派報告会&意見交換会 (ZOOM開催のご案内)

2022年 11月3日(木)15時~16時

ZOOM(オンライン)で開催します。たくさんの方のご参加お待ちしております。(傍聴のみの参加も歓迎です)参加ご希望の方は当日のURLをご連絡致しますので、お手数ですが以下のmailにご連絡ください。 mas.takeda@gmail.com



●お詫び

市民クラブ通信13号で矢野口のマスキ薬局をマキシ薬局と表記しておりました。お詫びして訂正いたします。

市民クラブにご意見をお寄せください。

地域のことでのお困りごとや市政へのご意見などをお寄せください。

QRコードから簡単に入力ができます。=>=>=>=>=>=>

